

# 教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 平成 29 年 5 月 24 日(水) 開会 13 時 30 分  
閉会 13 時 58 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 付議事件 ①子どもも大人も輝く（仮称）心身きらり条例の制定について  
②地域と学校のあり方について  
③事業効果の検討について  
社会福祉関係事業  
学童保育所維持管理経費  
健康づくり・未病改善事業
4. 出席者 前田委員長 一石副委員長 小笠原委員 露木委員 渡辺委員 根岸委員  
添田委員  
傍聴議員 0 名  
一般傍聴者 0 名  
議会事務局 3 名
5. 経 過

---

## ①子どもも大人も輝く（仮称）心身きらり条例の制定について

委員長 議題①子どもも大人も輝く（仮称）心身きらり条例の制定について、この件については、継続調査案件として、素案を健康福祉部に提示し、その後回答を得て検討・確認をし、常任委員会委員と健康福祉部との意見交換を行い、条例制定に向けて進めていきたい。関係各諸機関とも合同会議を持ち、最終的に、提言書を作成して提案したいと考える。この件についてどうか。

渡辺 今、健康福祉部からの回答を待っているということだが、最終的に何月議会に上程できそうか。最善の見通しはいかがか。

委員長 早ければ、9 月、遅くとも 12 月には提案したいと考えている。関係機関との打合せ次第ではある。遅くとも、行政側も 12 月という形で進めてもらっている。早ければ、間に合えば 9 月である。

そのほか、意見なければ①の条例の制定についてはよろしいか。

（「異議なし」との声あり）

---

## ②地域と学校のあり方について

委員長 この件につきましては、学校の統廃問題、コミュニティスクール化、色々あると思うが、教育委員会の基本方針をもとに調査を進め、検討していくという形でよろしいか。

- 添田                   今、教育委員会はコミュニティスクールというか、小中一貫も含めた形で検討を始めているが、それらの情報の共有というのはどういう形で行うのか。
- 委員長               その情報の共有については、教育委員会の鐘ヶ江部長に過日、教育委員会と教育福祉常任委員会で、内容等進んでいる事項について情報共有したいので、そのようなところも検討してほしい旨伝えてあるが、まだ回答はない。
- 添田                   公共施設再配置・町有地有効活用の委員会で、実は教育委員会の方から計画、スケジュールについて、3年間のスケジュールについて説明が、勉強会が非公式の場であった。そういう形である程度、予定等が決まってくるようなので、少し共有化を始めた方がよろしいのではないか。
- 委員長               それでは、さっそく教育委員会へ出向き、部長と話をきて、その結果を次の勉強会や委員会で報告していく。よろしいか。
- (「異議なし」との声あり)
- 委員長               そのほかにあるか。
- 渡辺                   ②の件については、なかなか①の条例の方ばかりを進めており、その前は地域と学校のあり方チームみたいな感じでやろうとしていたが、実際に進めるとなると…。課題は変わるが、事業効果の検討の方はこういうふうに3つ担当を割り振っているが、地域と学校のあり方についても、だいたい、きりり条例の方の目途が立ってきたら1回、分担というか、ある程度課題が見えてこないと分けようもないが、そういった形で閉会中にぜひ、一步を進める必要があるのではないかと。これは意見である。
- 添田                   もうひとつ、気になるところがある。実はこれは、総務建設経済常任委員会で東大跡地から派生した問題で、東大跡地に学校がつくれぬかというひとつの検討を行っている中で、そんな問題でなく、要するに学校の問題としてとらえるべきだということで始めている。その時は、単にソフトだけでなく、ハードのことも検討していた。小中学校一貫校をつくるのか、または小学校区を削減するか、広くするか等を考えながらやっていた。教育委員会の方は、ハード面は全く関知しない。公共施設再配置・町有地有効活用の委員会においても、役場庁舎と学校というのは切り離されていて、そこで議論にならないという少し変なことになっていて、それについてはまだまだ議論していかなければならないが、そういうこともあり、議会の委員会としては、やはり切り離さずに地域コミュニティと学校等、教育の小中一貫のカリキュラムだけでなく、全体のソフト・ハードを両面からひとつの課題として、課題が大きすぎるので、長期的な課題となっているわけであるが、そういう面も含めて課題として考えていった方がよろしいかと。これも意見である。
- 委員長               そのほか意見ないか。または、ただいまの渡辺委員、添田委員の意見についてなにかあれば併せて伺いたい。
- 小笠原               渡辺委員の意見について、そのように前に進めていくべきだと思う。添田委

員がソフトだけでなくハードの部分も併せて大局的に全体を見ながら方針というか、政策づくりをしていった方が良いという意見だが、私どもの地域と学校のあり方を年間通して調査研究していくことについて、多方面からの情報をきちんと私たちが把握していろんなことを考えていくことは重要であるとは考える。かといってさまざまな提案を幅広く町に進言していく上で、どこまでかということ、また少し時間をかけ、提案する部分については絞った部分で提案した方が現実的だと思う。今だけの添田委員の発言を捉えるとそのような感想を抱く。先ほどの意見の中で、公共施設の方の勉強会でタイムスケジュールみたいなものを提案されているという話があったが、実際、議会の方の教育福祉常任委員会では、そういうものは、特に情報を得ていないということは、町の方側も議会軽視ではないかと感じるし、また我々も積極的に情報を求めていく姿勢も重要だ。いつまでもただならぬいろんなことをやっているわけではなく、おしりが決まっている中でいろんなことを、わずかではあるが、国の補助金を使いながら結果を出していくというものがあるわけだから、私たちもそこにフォーカスしてやった方が良くと思う。

添田

委員会で教育委員会から説明があったのは、委員会が求めたからで、要するに学校は切り離せないのかと。そういうことで説明してもらった。そのため、議会が求めればそれもしてもらえと思う。それからもう1つ、今、広くとあったが、実際にはこれは学校のカリキュラムの問題だけでなく、広く捉えなければならぬのは、そもそも地域と学校のあり方についてというタイトルをつけているわけで、もともとは学校についてだったのを「地域と」という形で入れているので、やはりその辺のところはもう少し包括的に考えていかなければならないと思う。

委員長

この「地域」を入れたのは、コミュニティスクール化である。コミュニティスクールになると地域とともに歩む形になるため「地域」を入れたと解釈している。

休憩 14時45分

再開 14時52分

委員長

休憩前に引き続き再開する。

小笠原

一色小学校区地域再生協議会（以下、「再生協議会」）の中でも、それに携わる人達が、昨年28年度は友情の山関係でいろいろ動いてくださったり、あるいは音楽祭をやるにあたって、友情の山をやってらっしゃる方も兼ねながらイベントを組み立てたりしていたようだが、もう既に一色小学校はある意味、地域の方と学校とが連携を取りながらやっている事業もあるのは事実であり、そういう中での動きを、私たち議会も再生協議会絡みで、きちんと情報を共有化できる場を持ちたいと考えるがいかかが。

委員長

ただいまの小笠原委員の発言だと、再生協議会との情報を共有しながら進めていきたいという意見だがいかかが。

渡辺

それには異議はないが、まず、教育委員会の方針がどうなっているかをきち

んとヒアリングする必要がある。いろいろなところの動きに齟齬が生じることはないように、我々としても審議が必要ではないかと考える。そういう意味では、先ほど委員長が教育部長に申し入れておられるとのことだが、ぜひ早くヒアリングが実現できるようにお願いしたい。

委員長 委員会としても、一色のコミュニティスクールに関して、コミュニティスクールにはいろいろな種類があり、二宮町では二宮町なりのコミュニティスクールとしての形をつくり上げていくという話があった。教育委員会と情報共有しながら進めていきたい。

根岸 再生協議会の方でも実は現場というか地域でやっている方も混乱している状況がある。そこに議会が入って何か聞けるかということ、少し時間の経過が必要だと思う。まずはやはり、教育委員会の方としっかりやるのが先決だと思う。

委員長 では、②については、まずは教育委員会と、情報を共有化するというのを進めていくという形で異議はないか。

(「異議なし」との声あり)

---

### ③事業効果の検討について

委員長 事業名、担当名を振り分けしたが了解いただけるか。  
(資料 教育福祉常任委員会議会閉会中の継続調査について(確認事項)③を朗読)

(「異議なし」との声あり)

委員長 では、事業効果検討については、このような形で進めていく。

閉会 13時58分